

税理士のひとりごと

税理士の佐藤です。
「死ぬほど嫌いな家事をおしえてください・・・」との家電大手 SHARP のツイートに 1 日で 1 万件以上の回答が集まり話題となっています。



主に、掃除と洗濯に関する返信ツイートが多く「段ボールを畳んで縛る」、「鏡の水アカを落とす」、「洗濯物を各部屋

の棚に戻す」、「掛け布団にカバーをかける」等々・・・の意見が寄せられました。

家事も仕事と考えると、嫌いな仕事を耐えて頑張っているのはサラリーマンだけではなく主婦も同じのようです。

話題の発信元である SHARP 曰く・・・誰にも注目されなかった“名もなき家事”の存在が浮かび上がった・・・との事です。

私達も裏方に感謝しなければなりませんね・・・！

「環境の変化」

当事務所の開業から 10 月で 13 年が経過しました。当時を振り返ると、旧事務所の目の前は「旧拓銀の店舗」、裏には「旧札幌銀行の店舗(北洋新手稲支店)」があり、徒歩数分の圏内に北洋銀行の店舗だけで 3 つあるという恵まれた環境にありました。



現在、それぞれ楽器店、学習塾となり、歩いて 1 分以内に銀行窓口と ATM が無くなり、急速な店舗減に不便さを感じているのは私だけではないでしょう・・・。

栄枯盛衰、IT 技術の進歩など社会環境の急速な変化で消える業種にならないよう、企業は常に変わり続ける必要があります。

「上司に振り回される仕事」

つい先日、懐かしい来客がありました。当時、銀行の副支店長と課長だった人物です。偶然にも現在も同僚として銀行系列の保険

代理店で働いているとの事で、3 人で昔話に花が咲き楽しいひと時となりました。一方、彼らはサラリーマンの悲哀もしみじみ・・・語っていました。

そんな思いの中、「メガバンク銀行員ぐだぐだ日記(目黒冬弥著、2022 年、三五館シンシャ)」の新聞広告が目に入りました。サブタイトルは

「このたびの件、深くお詫び申しあげます」です。今月も人の苦労話を聞いて・・・自分の方がまし・・・と思えるひと時をお過ごし下さい。



「緊急事態発生」

著者の勤めている銀行は「システム障害」で一躍有名となった、あのメガバンクです。

道外という事もあり、あまり記憶に残っていませんが店舗の回りは人でごった返し大変だったようです(今まで3度もあったようです)。



ATMと銀行のシステムが使えないので残高

は分かりませんが顧客の自己申告を信じ仮払を行いました。

ネットで「こうしてお金を貰った」との情報が拡散、今話題のコロナ給付金詐欺の前兆とも言える出来事があったようです。

その一人に、某有名私立大学の学生 A がいました。預金残高 3 千円しかないのに 20 万円もの仮払を受けたのです。回収係となった著者は A さんに何度も催促し、自宅やバイト先で催促しても「金はない」とイラッとした態度をあからさまに見せ・・・返却の意思はありません。

「人は見かけによらない・・・」

50 代の建設作業員 B も預金残高 850 円なのに 10 万円仮払を受けました。彼は簡易宿泊施設に寝泊まりし都内の現場を転々としており、携帯電話もないので連絡手段がありません。当然、そのまま逃げる事も可能ですが、自ら支店を訪ねて来ました。

B さんは現在、生活保護を受けておりますが毎月千円ずつ返すと誠意は見せます。しかし、100 回返済を銀行が認める筈はありません。そこで 1 万ずつ払うとの約束を著者は本部に交渉します。翌月、B さんは泥だらけのニッカボッカの尻のポケットから千円札 10 枚持ってきました。しかし、その翌月に B さんは現場監督と一緒に現れ残額 9 万円を一括で返済してくれます。どうやら現場監督が立て替えたようです。



一方、例のエリート学生 A は著者を恫喝した事をきっかけに警察に通報され、親がすぐに銀行に支払いに来ました。人の本心は見かけだけでは判断できません。

さて、最後に著者の同僚が定年前の早期退職のために人材派遣会社で「銀行で 30 年近く働いたことは、なんのプラスにはなりません。あなたの経歴や保有資格には魅力が感じられず、あなたの市場価値は高くありません」と言われたとの言葉がやけに印象に残ります。肩書で自分は有能と思っていた勘違いと現実のギャップに戸惑うのでしょう。

「中小企業に勤められて良かった」と面と向かって社長に言う社員はいないかも知れませんが・・・皆さんの社会貢献(雇用の確保)は素晴らしいと改めて本書を読み、ひとりうなずいていました・・・。

今月のことば

朋(とも)あり、遠方より来る、また楽しからずや (論語)

編集後記:

開業以来、数多くの銀行の支店長、課長などとお付き合いさせていただきました。今回のように数年ぶり訪ねて来られる方も数名おります。さて、皆さんも経験されているように自分の一方的なお願いだけしてすぐ転勤する銀行員もいた事は事実です。しかし、銀行の店舗の減少はそのような人間同士の駆け引きもなくなる事を意味します。少し寂しく思うのは私だけではないでしょう(寿)。